



今号からSTART!!

イーキャン理事リレーインタビュー

長崎大学環境科学部

早瀬 隆司 先生

NPO 法人 環境カウンセリング協会長崎
Environmental Counseling Association of Nagasaki (ECAN)

<http://www.npo-ecan.org/>

まちなかまたちを紹介

ISO の家



活動報告

日本学生グローバルサミット 2009



イベントレポート

環境に関する市民団体の意見交換会 in 長崎・佐世保
環境市民活動助成金セミナー九州 09
三次元環境紙芝居とエコキャンドル製作

会員紹介

ECAN 法人会員 & 地球温暖化防止活動推進員

松尾 維典さん

ECAN 新会員の紹介

NEW FACE!



いい人、いい自然、いい長崎

環境カウンセリング協会長崎は美しい長崎の創造に貢献したいと願っています

FREE!!
vol.





プロフィール

1951年 大阪市生まれ
1977年 大阪大学大学院修了
1977年 大塚環境学博士
1997年 長崎大学環境科学部教授

第一回 早瀬 隆司 先生

長崎大学環境科学部 教授

——大学時代（水処理や大気汚染など産業公害対策の研究）から、環境庁での20年間、長崎大学の環境科学部教授としての13年間と、ブレなく環境問題ひとすじにいられた感がありますが、そもそも環境問題に携わるきっかけになったのは？

大阪の下町で生まれ育ったのですが、小さい頃は淀川の川べりでコオロギやバッタなんかを捕まえて遊んだりして、まだまだ自然が残っていたのかな環境でした。それが、小学校高学年の頃、大阪湾沿いに石炭火力発電所ができ、牛や馬が通っていた家の前の国道2号線はみるみる交通量が増え、大気汚染、川の水質悪化など、大切な生活の場があらさまに汚されていくのを目の当たりにしてきた経験、自分が望んだわけではないのに自分の生活環境が汚れていくという、つまりそこで感じた不公平感が環境問題との最初の接点ですね。

——なぜ、環境庁をやめて長崎大学に？

大学2年の時に環境庁ができて、大学で学んだことを活かすことができるかと思って入ったのだけど、行政の仕事はあんまり面白くなかった（笑）。

環境庁にいた20年間は、環境問題というのが、産業公害対策など行政発信から、持続可能な社会を目指す市民発信の方向へと大きく転換していった時代。

そのプロセスの中にあつて、行政の仕事は直前にある緊急性の高い問題への対応にとらわれたり、科学的行政を標榜するあまり、市民参加の重要性や問題の社会的合理性を軽視する傾向にあると思っていました。仕事自体も環境対策の推進よりもむしろ煩雑な行政事務に追われて、本来やりたいことから離れていると

感じていました。ちょうど長崎大学で環境科学部ができ、行政からの人材を募っておられたので、97年10月から長崎に単身赴任してきたわけですね。

やりたいことができるという意味では今の職場は非常に恵まれていると感じますね。

——イーキャンの理事や市民活動はどういう想いでやっておられますか？

「クリティカルシンキング」：本質を合理的に見極め、回りの状況や時代に流されない考え方をすることですが、今の環境問題や環境教育にはこの視点が不可欠だと思います。

持続可能な社会の実現のためには、市民が本当に自分たちに必要と感じる問題を持ち寄り、意見をぶつけあい、話し合いの中で解決策を発見していく場や機会というのは非常に重要になってきます。

イーキャンをはじめ、県の地球温暖化対策協議会やステークホルダー塾の活動などはその一環なのですが、こういった活動を地道につづけることで、本質的に物事を考え、議論できるような市民の輪が増えていくとすればと思っています。

——13年住んでみて長崎はどうですか？

好きだけど、もちろん退屈しないような歴史や街並みもあるのだけれども、街を好きになるといふことは、人とのつながりというのが大きいですね。イーキャンをはじめ、人のつながりには恵まれていると思います。

——インドネシアにちよくちよく行っておられますね？

環境庁時代の91年からインドネシ

一見異分野異業種の問題を扱う団体や人ともつながれる場に

アの環境庁の立ち上げのため、二年半出向していました。その後も親しくなったインドネシア大学の先生と一緒に、ジャカルタのゴミ問題や環境教育に取り組んできました。

インドネシアでは貧富の格差問題も深刻で、ゴミ対策などはもちろんのことですが、それだけではなく農産物を加工することにより付加価値をつけて販売するという指導なども農業高校等の生徒に行っています。

この4月からは3年計画でジャカルタの小学校のモデル校を対象に生徒だけでなく地域を巻き込んだ環境教育を行うプロジェクトが始まりました。うまくいけば3年後、一般化してより広く普及できればと思っています。

——今後のイーキャンに期待することは？

近代化や都市化に伴い、人のつながりが分断されたり、コミュニティが解体されたりしてきた弊害というのは、環境問題だけじゃなく、格差やジェンダーの問題、青少年の問題などにも大きく影響しています。

色々な問題の根っこは同じなので、今後のイーキャンはそういう一見異分野異業種の問題を扱う団体や人ともつながれる場になっていくべきだと思っています。

せっかく事務所も広くなり、便利な場所になったのだから、いろんな団体に活発に利用してもらえ交流の場になってほしいですね。

——最後に市民、行政へのメッセージは？

よろしくお願いします。

——もう一声

和食が一番おいしいと思ってもらえるかもしれませんが、インドネシ

ア料理も美味しいですよ。

——多様性、ですね？ほんとにいいいんですか？

いや、ものすごく変なおいものもあって、慣れるまで大変。でも慣れたらなんともいえないくなりますね。少なくともインドネシアの人たちにとってはインドネシア料理が一番おいしい。

結局「一番おいしいのはおふくろの味なんだ」というようなことを理解しあえる、自らの主観を超えたところでつながれる関係を広げていきたいですね。

——本日はありがとうございました

インタビューを終えて

あの独特な関西弁のニュアンスはどうしても文章化できず、悩みました。（結局あきらめました）。

政治まかせ、人任せではなく、市民一人一人が未来を考えて街づくりに参加するべきだし、参加できる状況になりつつある。これって実はワクワクするものなことがあるのではないかと先生のお話をうかがいながら考えていました。

おもしろいセンセが、故郷やご家族から遠く離れて、ここ長崎に来て「ええ街づくりにしたいの指とまれ」とおっしゃってくださいます。とまらにや損傷だと思いました！

聞き手／佐藤 恵



地域清掃の様子



ncc 親子でエコの日 キャンドルづくり



高島合宿での集合写真

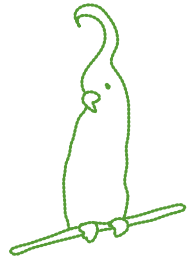
ISO14001 認証取得に向けた活動、地域の清掃活動、学内の紙・ゴミ・電気の削減に向けた活動、学園祭でのイベント(廃油キャンドルづくりなど)、リサイクル

活動内容を教えて下さい

ISOの家(いそのけ)ってあの磯野家ですか? そうです。人間環境学科発足のグループなので磯野家のようなあたたかい家庭をイメージしたのと、語呂が覚えやすいので。ISOの家は、長崎総合科学大学の環境・建築学部人間環境学科の1年生から4年生までの学生により構成されています。環境活動の一環として、環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001の取得を維持するため、学生主体で活発に活動をおこなっています。学内の活動の他にも、様々なボランティア活動やイベント等にも参加しています。

第一回 ISO の家

活動4年目に突入したISOの家
人間環境への思い



話し手/山本由有貴 (ISO の家)
聞き手/松本 賢人

たくさんさんの活動をしているのですね

ルの推進、廃油回収(BDFパスに利用)、内部監査員の養成、QRコードによる古紙回収、環境シンポジウムの開催、ボランティア活動への参加(対馬にて漂着ゴミ清掃、こどもキャンパスのスタッフ、雲仙パークボランティア)など様々な活動をしています。

ひとつ例をあげるとncc親子でエコの日というイベントに参加させて頂きました。このイベントは歴史文化博物館で行われ、様々な団体が子どもたちの自由研究に役立つような催しを行いました。ISOの家ではお客さんと一緒に廃油キャンドルを作り、廃油のリサイクルについて環境教育を行いました。「から揚げで使った後の油がキャンドルになるんだよ」と話をすると、子どもたちも興味津々で、楽しそうに参加していました。

地域の清掃活動についてお聞かせ下さい

月の一度、地域の方と一緒に公園の清掃を行います。早朝からの清掃で、起きるのは少しきついですが、朝の澄んだ空気が清く、地域の方とも仲良く会話をしながら楽しく行っています。

QRコードによる古紙回収も清掃活動のひとつなんですか?

本学部では、ISOの家の他に「ペンギんの町」という環境活動グループがあります。そこでは主に古紙と廃油のリサイクルに向けた活動を自治会の方と連携して行っています。QRコードによる古紙回収とは、まずペンギんの町の会員になって頂いた地域の方にQRコードを何枚か配布し、それを古

紙に貼り付けて特定の場所に持ってきてもらいます。次にペンギんの町とISOの家の学生協力し、集まった古紙を回収しに行きます。その際、古紙に貼り付けたQRコードを携帯電話で読み取ること、誰かが持ってきたものからわかるようになっていくので、古紙の重さを計り、会員さんごとに記録していきます。古紙20kgでペンギんの町オリジナル金券60ペギー一枚に交換できます。60ペギー1枚が、ペンギんの町に加盟して頂いているお店で60円相当として利用できます。金券の発行の際など、宿町自治会の方には大変お世話になっています。



古紙計量・QRコードを読み込む様子

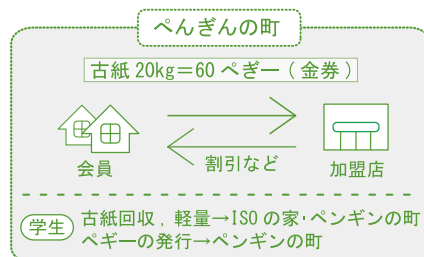
学生という立場から環境問題に対してどんなアプローチをしていきたいですか?

学生の身軽さや若さを活かして、考えるよりもとにかく動くことで、楽しく真剣に活動したいです。また、積極的に現場に行って、自分自身の目で問題を見て、考え、学び、それを情報発信していきたいです。環境問題と本気で向き合えば、壁にぶつかるときもありますが、そういったとき力の源になるのが、人と人のつながりだと感じています。他大学の方と地域の方、ときには他国の方とも活動をしていく中で、ひとつ

の事を同じ思いを持って成し遂げたとき人と人のつながりを感じられます。そこで出逢った人やその人と別の活動でまた出逢うことは、つながっているからこそできることだと思います。

今後の目標をお聞かせ下さい

より多くの活動に参加し、環境活動の輪を広げていきたいです。そこで知ったこと、得たものを今度は自分たちから伝えていくことで、環境について考える人が増えるようアピールしていきます。ISOを通して学ぶことができた※1 PPDAリサイクルを常に心がけ、継続的改善をしていくことで、より環境に考慮していくような努めていきたいです。



平成18年ISOの家結成
メンバー 33名

〒851-0201 長崎県長崎市宿町3-1
環境・建築学部人間環境学科

代表: 大塚 祥平
☎080-5262-0454
www.ziprarpng.jp/ggiffmp3mp4.817
@ezweb.ne.jp

日本学生グローバルサミット 2009



文／ECAN 理事 川口 孝範



漂着ごみ

平成18年度より長崎県と対馬市の共催により実施してまいりました「日韓学生つしま会議」は、大きな成果を残し平成20年度をもって終了致しました。当協会も微力ながら当事業のお手伝いをさせていただきましたが、本事業が終了するに当たり、もつと継続したいとのご意見が多数あったことから、独立行政法人環境保全再生機構「地球環境基金」の補助をいただき、また、長崎県や対馬市のご後援もいただき、当協会が主体となつて「日本学生グローバルサミット2009」として平成21年10月10日（土）から12日（月）の3日間で開催いたしました。

しかしながら、これも一時的なものに過ぎず時間が経てば元の木阿弥です。どうすれば自然の景観を守り、維持できるのか。引き続き行われたワークショップの大きなテーマでもありまふ。参加者を7つのグループに分け（もちろん日韓混成です）それぞれに通知のできる人を配置したり、率先してファシリテートする人が居たり、和やかな中にも自分たちが今、何をなすべきか、どうあるべきかを本当に真剣に論じあつてとても活発なディスカッションでした。その成果物のひとつが参加者一人一人の想いを端的に集約したフラッグと現在編集を進めている体験文集です。このように人と人がスクラム組んでことを成し遂げることの素晴らしさを改めて感じさせられました。この成果物をひとつの啓発ツールとして今後、活用していきたいと思ひます。

最後に様々な立場のみなさんにご指導やご協力をいただきました。この場を借りて心からお礼申し上げたいと思ひます。



（株）環境衛生科学研究所
松尾 維典さん
ECAN 法人会員 & 地球温暖化防止活動推進員



愛妻家、二人の愛娘の父親、釣りが大好き！
座右の銘「一期一会」

ECAN
会員紹介
No. 6

——平成20年の9月から推進員をされてるそうですが、きっかけは？

勤務先の社長から勧められました。（苦笑）

——推進員として、どういう活動をしているのですか？

私が思う推進員とは、簡潔に云うと「エコ活動を周囲の人は、簡単に活動をする人です。私は現在、家族や近隣、会社などでエコ活動を広げることをしていきます。

——推進員になって感じていることは？

環境問題への意識が高まりました。今後は長崎地区の推進員と連携して、広げる活動ができればと考えています。

——歩いて通勤されている際に、ゴミ拾いをされていますね。素晴らしい！どうして始められたのですか？

日頃からポイ捨てゴミを見掛けると、拾っていました。そんな無神経さは悲しいですし・・・（苦笑）私の二人の娘には、子供たちには

「ポイ捨てをするような思いやりのない人になつて欲しくない」と思っていました。（照）そんな中、「ノーマイカー運動」に参加し、徒歩で出勤した折に、沿道にたくさんポイ捨てたゴミが散乱していることに驚きました。放つてはおけないですし、自分がゴミ拾いをしてる姿を誰かが見てくれて、少しでも共感し、抑制に繋がってくればと思います、その後続けるようになりました。

——『ゴミ拾い通勤』をしています。感じていることは？

拾つても拾つても、次から次に出てくるんです。（涙）これだけ環境問題が新聞やTVで取り上げられて関心も高いのに、意識が低い人がまだまだ多いことを残念に思っています。でも諦めずに、継続して頑張っていきます！

——2010年の目標は？

まずは通勤路から、ポイ捨てゴミがなくなる事です。ここから周辺地域と広がっていければいいなと思っています！

——ご自分のために、娘さんのためにも、そして地域のために今後の活動に期待しています！

ありがとうございます。
あなたと一緒に始めませんか？



この日のポイ捨てゴミは結構多かったです。中くらいのレジ袋にいっぱいでした。紙くず、空き缶、たばこの吸い殻など色々会社に置いてから、分別して捨てています。

次のポイナスでは
通勤用のスニーカーを欲しいです（笑）

（株）環境衛生科学研究所…長崎市内に本社を構え、水質検査や土壌分析などの環境分析&コンサルティングを行う。

聞き手／ECAN 理事 新宮 一広



イベントレポート

環境カウンセリング協会長崎／エコアクション21 地域事務局ながさきの活動報告

1 環境に関する市民団体の意見交換会 in 長崎・佐世保

昨年 10 月 17・18 日、九州環境サポートセンター及び ECAN の主催により、長崎市と佐世保市で地元の市民団体等が集まり意見交換会を開催しました。長崎会場では地域住民や学生サークルを中心とした環境団体の参加が多く、人材育成の必要性や資金調達など現在抱えている問題を共有しました。一方、佐世保会場では地域住民団体に加え、中間支援団体、企業内団体、教員団体など多彩な顔ぶれとなり、長崎会場とは異なる意見交換となりました。いずれも団体相互がつながるきっかけとなり、有意義な会でした。



長崎会場



佐世保会場

2 環境市民 活動助成金セミナー九州 09

昨年 11 月、九州環境サポートセンター・セブン・イレブンみどりの基金・ECAN の主催により、「助成金制度を使いたいけど、助成金制度って難しい。」という環境団体の悩みを解決するための、各助成団体による助成制度の概要紹介や個別相談が行われました。環境活動を行う市民団体や NPO から 25 名が参加されました。活動を広め深めていくいい機会となっていただけではないのでしょうか？



セミナーの様子

3 三次元環境紙芝居と エコキャンドル製作

皆様こんにちは。法人会員の西部環境調査（株）です。私どもは去る 12 月 12 日に、佐賀県「ストップ温暖化」県民運動推進会議から一部助成を頂き、ECAN 会員や学生の皆さんの若い力を得て、佐賀県伊万里市において「三次元環境紙芝居とエコキャンドル製作」イベントを開催しました。イベント当日、スタッフの手作り紙芝居の観覧やキャンドル作り体験に参加頂いた皆様からは、「このようなイベントを他でも開催してほしい」、「省エネなどエコライフに取組もうと思いましたが」などのお声を頂くことができました。

これからも、このようなイベントなどの環境保全につながる社会貢献活動に取組んでいきたいと考えています。今後ともよろしくお願いいたします。



三次元環境紙芝居の様子

Information

第 4 回エコアクション 21 全国交流研修大会 in 静岡

日時：平成 22 年 2 月 6 日（土）・7 日（日）
場所：静岡県コンベンションアーツセンター（静岡市駿河区池田 79-4）
主催：第 4 回 エコアクション 21 全国交流研修大会 in 静岡 実行委員会、財団法人地球環境戦略研究機関 持続性センター、エコアクション 21 中央事務局
対象：EA21 地域事務局、EA21 審査人、EA21 取得企業、他 EA21 関係者

第 4 回環境カウンセリング協会長崎定例理事会

日時：平成 22 年 2 月 18 日（木）18：30～
場所：環境カウンセリング協会長崎 事務局

第 3 回環境カウンセリング協会長崎臨時理事会

日時：平成 22 年 3 月 18 日（木）18：30～
場所：環境カウンセリング協会長崎 事務局

知ってほしい今、地層処分フォーラム

日時：平成 22 年 2 月 15 日（月）18：30～21：00
場所：長崎新聞文化ホール アストピア（長崎市茂里町 3-1）
主催：長崎新聞社・原子力発電環境整備機構
お問い合わせ：長崎新聞社事業部 TEL 095-844-5261

九州環境教育ミーティング in 雲仙

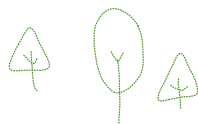
日時：平成 22 年 3 月 6 日（土）～7 日（日）
場所：休暇村雲仙（雲仙市小浜町諏訪の池）
主催：九州環境教育ミーティング
お問い合わせ：九州環境教育ミーティング事務局
TEL 0964-46-3993 <http://keem.info/>

『諫早湾・調整池アオコ』学習講演会

日時：平成 22 年 3 月 13 日（土）13：30～（90 分程度）
場所：諫早市社会福祉会館（諫早市新道町 948）
主催：諫早湾の干潟を守る諫早地区共同センター
お問い合わせ：諫早共同センター事務局長 坂田輝行
TEL 0957-22-6121

エコアクション 21 取得実践講座

日時：第 1 回 平成 22 年 2 月 9 日（火）13：00～17：00
第 2 回 平成 22 年 3 月 9 日（火）13：00～17：00
第 3 回 平成 22 年 4 月 9 日（金）13：00～17：00
（※第 5 回まで開催予定）
場所：三井住友海上火災保険㈱
長崎県中央支社（諫早市永昌東町 19-28）
対象：自動車整備事業者
お問い合わせ：三井住友海上長崎支店 高木、田中、前田
TEL 095-823-3820





NEW FACE!

ECAN 新会員の紹介



糸山 景大さん
長崎大学名誉教授、工学博士
ここ 20 年ほど、長崎県・長崎市の
ゴミ問題に携わってきました。
よろしくお願いします。



宮田 一博さん
明けておめでとうございます。
個人会員の宮田と申します。
よろしくお願いします。



濱田 大洋さん
リコ九州株式会社
はじめまして。リコは環境保
全と利益創出を同時に実現する
「環境経営」に取り組んでいま
す。地域社会への貢献にお役立
ちしたく ECAN へ入会しました。



山本 了子さん
長崎県地球温暖化対策推進協議会委員
着物が好きで新年は着物で過ご
します。向かって左側が私です
(笑)

リニューアルしました。

タイトルは「ヨリヨリ」です。
寄り寄り にぎやかに仲間があつまつて
依り依り 助け合い活動を続けた
そんな想いを込めました

長崎の伝統菓子マーファルの愛称でも
なじみが深いですね。
よりよりのお菓子のかたちは
二重らせん状で、DNA のかたちそのものです。
それにあやかって
根源的な“大切なもの”を
伝えていけたらという願いを込めました。

会員募集中！環境についてともに考え活動しませんか？

環境カウンセリング協会長崎は、中立な立場から市民、事業者、学術機関及び行政のパートナーシップの形成を図り、それぞれの環境への取組みを支援することを目的に設立されました。

循環型社会を根付かせ、人と自然が共に生きる心豊かな長崎を作るために、企業、団体、学術機関、行政そして市民としてそれぞれの立場からのご支援とご協力をお願い致します。



会員の種類	入会金	年会費
個人会員	1,000 円	3,000 円
学生会員	—	1,000 円
企業会員	—	10,000 円
団体会員	—	30,000 円
賛助会員	—	一口 (50,000 円) 以上

現在の会員数（平成 22 年 2 月現在）

学生会員 10 名、個人会員 62 名、企業会員 32 社、団体会員 4 団体

お申し込み・問い合わせ先
環境カウンセリング協会長崎
TEL (095) 818-3305
E-Mail ecan@npo-ecan.org

— 理事

宮原和明（長崎総合科学大学教授）、時田雄次（学術博士）、菅 洋一（（株）エコシステム）、武政剛弘（長崎大学教授）、早瀬隆司（長崎大学教授）、安永憲一（長崎県中小企業団体中央会）、川口孝範（（有）T・N・C・エスコ）石橋康弘（長崎総合科学大学教授）、山田知代（ばってんキャンドルナイト実行委員会）、空閑次男（エコアクション 21 地域事務局ながさき）、新宮一広（（株）環境衛生科学研究所）、重橋裕明（長崎三共有機（株））



編集後記

編集部

宮原和明 早瀬隆司 塩竈綾 (ECAN)

監修／山崎加代子 取材／佐藤恵 制作・デザイン／松本賢人

今回のニュースレターは ECAN 内外のたくさんの方にご協力をいただき、皆で作上げた一冊です。ページ数は今までと変わりますが、デザイン・内容ともに充実していて、私の勝手なイメージ、手に取ると 1~2kg くらいの重みがありそうです(笑)。編集委員会では、「人と人がつながるようなニュースレターにしたい」という思いを込めて「ヨリヨリ」という長崎らしいネーミングを付けました。このニュースレターを通していろんな人が情報を共有できるよう、これからも誌面づくりに努めたいと思います。最後に、ご協力いただいた皆さん、本当にありがとうございました。／塩竈 綾

記事募集！

次号のニュースレターにあなたの書いた記事を掲載しませんか？
環境問題や温暖化問題に関する記事を募集します。

また、ニュースレターへのご意見やアイデアも寄せ下さい。



ECAN Newsletter ヨリヨリ vol.5(2010 年 2 月)
■発行：NPO 法人 環境カウンセリング協会長崎
Environmental Counseling Association of Nagasaki(ECAN)
〒850-0036 長崎市五島町 3-3-206
TEL(095)818-3305 FAX(095)826-3693
業務時間：平日 10:00~17:00 定休日：日祝日
<http://www.npo-ecan.org/>

■印刷 総合印刷 コマツ印刷

ECAN LOGO MARK
長崎県の形+葉っぱをイメージした緑
右手は「力」を意味する赤。(ガッツポーズ)
左手は美しい水を意味する水色
回りの円は、碧い地球



このニュースレターは再生紙を使用しています